

第71期中間報告書

KONDOTEC REPORT

2022年4月1日～2022年9月30日



コンドータック株式会社

証券コード 7438

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに第71期第2四半期（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。



2022年11月

代表取締役社長 近藤 勝彦

当第2四半期の連結経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、緩やかに持ち直しております。しかしながら、資材価格の高騰や急速な円安の進行など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループ関連業界におきましては、設備投資に持ち直しの動きがみられ、公共投資や住宅投資が底堅い動きとなるなど、回復に向けた動きが継続する状況となりました。

このような状況のもとで、当社グループは、営業拠点の新設・移転に加え、新規販売先の開拓や休眠客の掘り起こし、新商材の拡販などの営業活動に取り組んでまいりました。

以上の結果、建設需要の回復や製造原価や仕入価格上昇分の販売価格への転嫁に加え、前連結会計年度に子会社化した栗山アルミ株式会社の売上が寄与し、当第2四半期連結累計期間の売上高は36,229百万円(前年同期比15.7%増)と増収になりました。

利益面につきましては、売上総利益率の低下や人件費及び連結子会社の増加に伴う販売費及び一般管理費の増加などを増収効果で吸収したことにより、営業利益は1,938百万円(同19.8%増)、経常利益は2,038百万円(同19.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,289百万円(同21.0%増)と増益になりました。

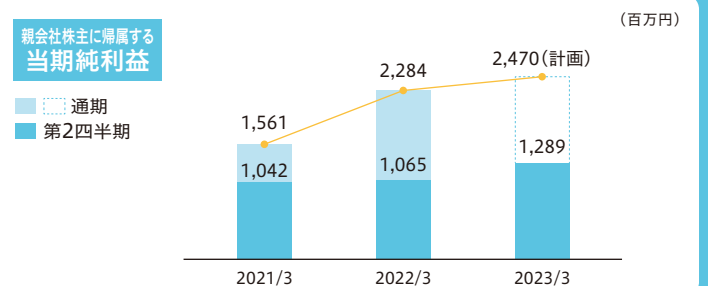
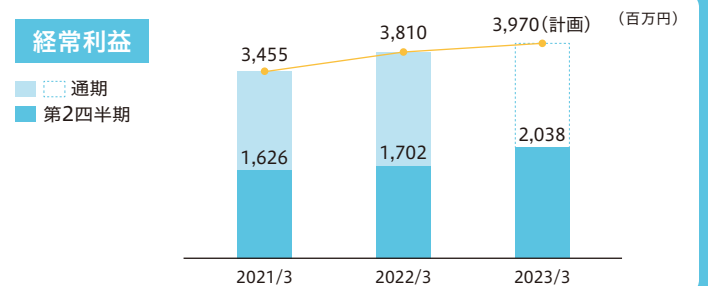
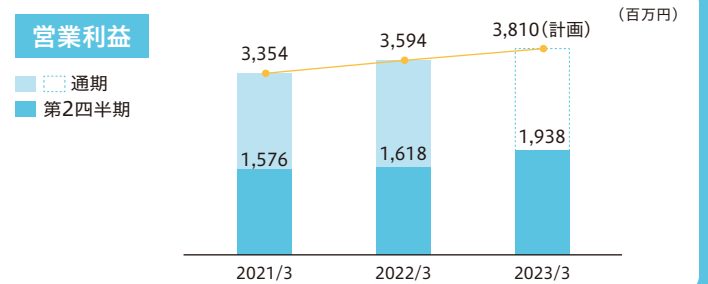
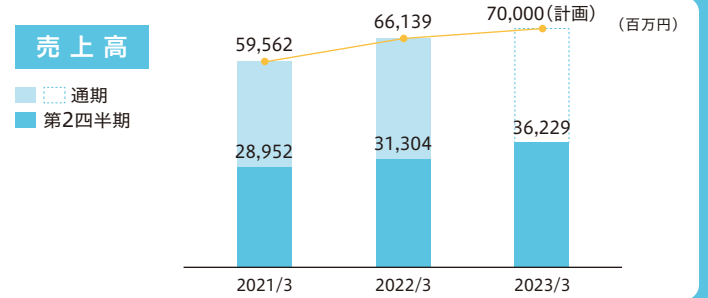
売上高
362億29百万円
(前年同期比 +15.7%)

営業利益
19億38百万円
(前年同期比 +19.8%)

経常利益
20億38百万円
(前年同期比 +19.7%)

親会社株主に帰属する
四半期純利益
12億89百万円
(前年同期比 +21.0%)

FINANCIAL HIGHLIGHTS | 決算ハイライト



セグメント別業績

産業資材

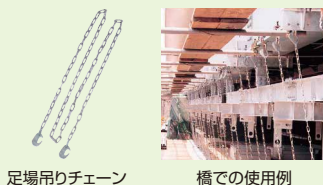
182億46百万円
(前年同期比 +14.5%)



前連結会計年度に子会社化した栗山アルミ株式会社の売上高が寄与したことに加え、製造原価や仕入価格上昇分の販売価格への転嫁等の結果、増収となりました。

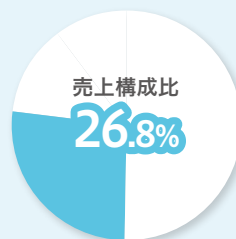
主な製品・商品

ターンバックル、シャックル、足場吊りチェーン、丸セパレーター、ワイヤロープ、コンテナバッグ 他



鉄構資材

97億19百万円
(前年同期比 +24.4%)



大型物件を中心とした鉄骨需要の回復や製造原価や仕入価格上昇分の販売価格への転嫁により、鉄骨部材、ハイテンションボルト、ブレースなどが好調に推移した結果、増収となりました。

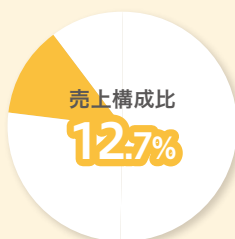
主な製品・商品

ブレース、アンカーボルト、ハイテンションボルト、ボルトナット類、鉄骨部材、施工工事 他



電設資材

45億94百万円
(前年同期比 +13.2%)



新型コロナウイルス感染症の感染拡大による工期延長、設備投資の抑制や半導体不足による商品供給遅延に加え、各種コスト上昇に伴うメーカー各社からの仕入価格の引き上げ要請が厳しくなる中、費用に応じた価格設定を意識した営業展開を実施した結果、増収となりました。

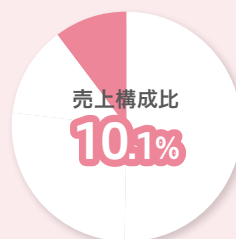
主な製品・商品

照明器具、空調機器、換気扇、分電盤、電線ケーブル、配線器具、エコキュート、太陽光発電機器、家電機器 他



足場工事

36億69百万円
(前年同期比 +4.9%)



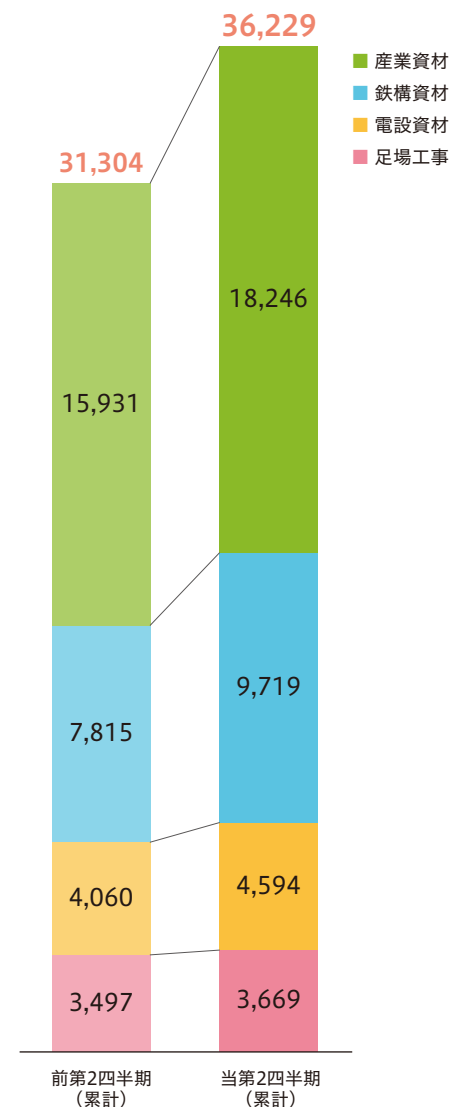
民間建設投資は回復傾向にあるものの建設現場の人手不足等を背景とした工期の長期化により工事売上がほぼ横ばいとなりましたが、建設需要の回復や足場機材価格の上昇を背景に足場機材の販売やレンタル売上が好調に推移した結果、増収となりました。

主な製品・商品

足場架組工事、仮設足場機材の販売 他



売上高 (百万円)



通期の見通し

2023年3月期の連結業績予想

売上高
700億円
(前期比 +5.8%)

営業利益
38億10百万円
(前期比 +6.0%)

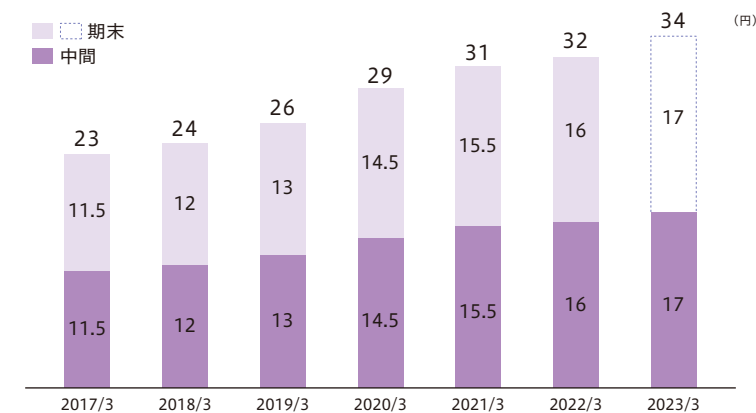
経常利益
39億70百万円
(前期比 +4.2%)

親会社株主に帰属する当期純利益
24億70百万円
(前期比 +8.1%)

配当金

当期配当(2023年3月期)

中間配当 17円
期末配当予想 17円



TOPIC 1 日経IR・個人投資家フェア2022へ出展

2022年8月に、東京ビッグサイトにて開催されました「日経IR・個人投資家フェア2022」へ出展しました。

当イベントは、個人投資家と上場企業のコミュニケーションの場となる日本最大級のIRイベントで、リアル展示会には2日間で約5,000人の方々が来場され、当社ブースにも、400人を超える方々にお立ち寄りいただきました。

今後も個人投資家の皆様に向けた積極的なIR活動を展開できるよう、尽力してまいります。



TOPIC 2 当社看板広告の設置

当社では、より多くの方に当社の社名や事業を知っていただきたく、新たに看板広告を設置いたしました。

近くに、お立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。

名古屋駅近くのビル屋上

名古屋駅近くに位置します当社グループ会社の栗山アルミ(株)の本社ビル屋上に当社社名看板を設置しました。

看板は、新幹線や在来線等から見る事ができます。



JR大阪駅構内

JR大阪駅構内の1・2番線(大阪環状線)ホームから中央口改札に向かう階段の上部に当社製品・商品を掲載した看板広告を設置いたしました。



TOPIC 3 鉄道分野の展示会へ出展

鉄道技術展・大阪2022 (インテックス大阪)

2022年5月に、「鉄道技術展・大阪2022」へ出展しました。

当イベントには270社が出展し、3日間で約1万8千人が来場されました。

鉄橋に枕木を固定する「角フックボルト」や噴泥対策の「排水名人」をはじめとした土木資材を展示し、当社ブースには多くのお客様に足を運んでいただきました。



InnoTrans2022

(Messe Berlin GmbH (ExpoCenter City) (ドイツ・ベルリン))

2022年9月に、世界最大の国際鉄道技術見本市の「InnoTrans2022」へ出展しました。

世界中から2,834社(56カ国)が出展し、4日間で約14万人(131カ国)が来場されました。

当社ブースでは日本国内で拡販中の「角フックボルト」を展示し、様々な国の方にPRすることができました。



TOPIC 4 札幌工場 ISO14001 認証取得

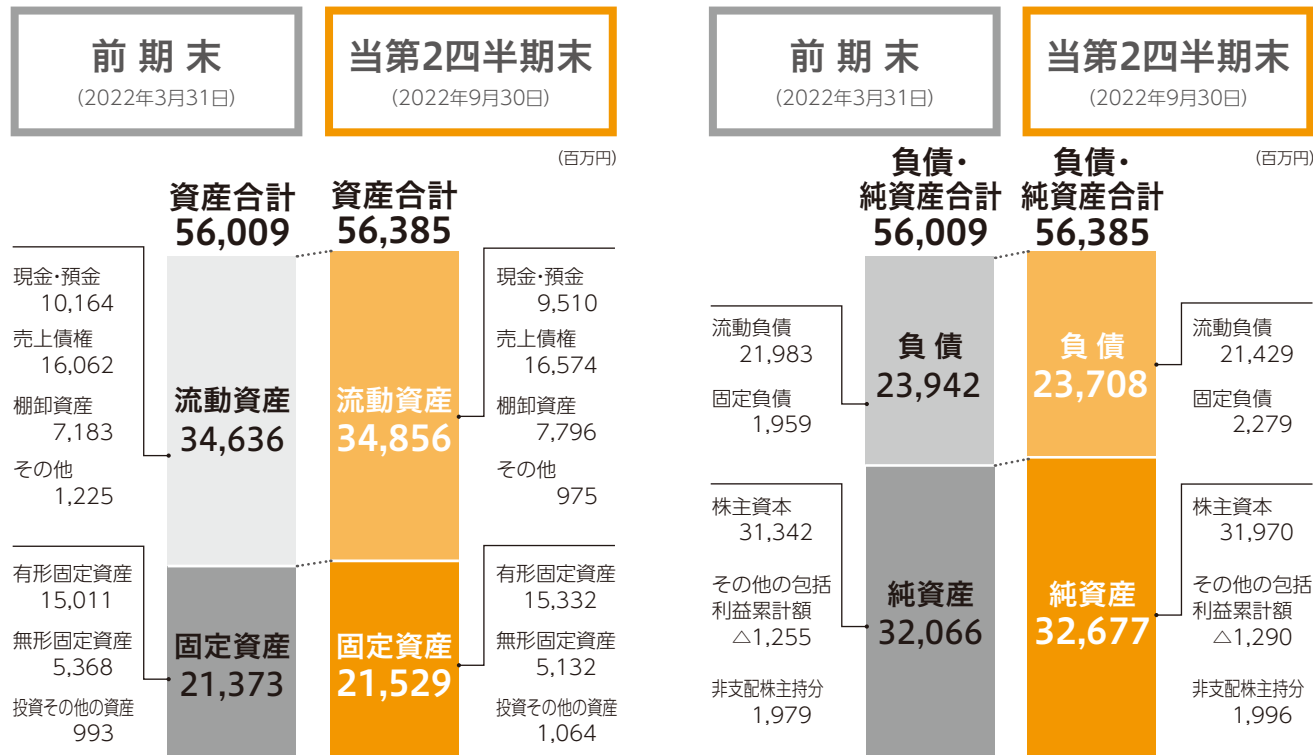
当社の札幌工場において、新たに環境マネジメントシステム「ISO14001」の認証を取得しました。

これにより、当社全4工場(札幌、関東、滋賀、九州)で「ISO14001」の認証取得となりました。

当社は、今後も持続可能な社会の実現のために、環境に配慮した事業活動に取り組んでまいります。

登録事業所	札幌工場 (関連事業所 札幌支店)
登録範囲	建築、土木及び仮設資材用金属製品(ブレース、アンカーボルト、鉄骨用部材、セパレーター、シャックル、吊筋、ワイヤーロープスリング)の製造、関連する資材の販売
登録日	2022年7月19日 (登録番号 RE0736)
審査登録機関	一般財団法人 建材試験センター

四半期連結貸借対照表の概要



流動資産 348億56百万円(前期比+2億20百万円)

現金及び預金の減少等があったものの、売上債権及び棚卸資産の増加等によるものです。

固定資産 215億29百万円(前期比+1億56百万円)

のれん等の償却による無形固定資産の減少等があったものの、拠点展開の整備等による有形固定資産の増加等によるものです。

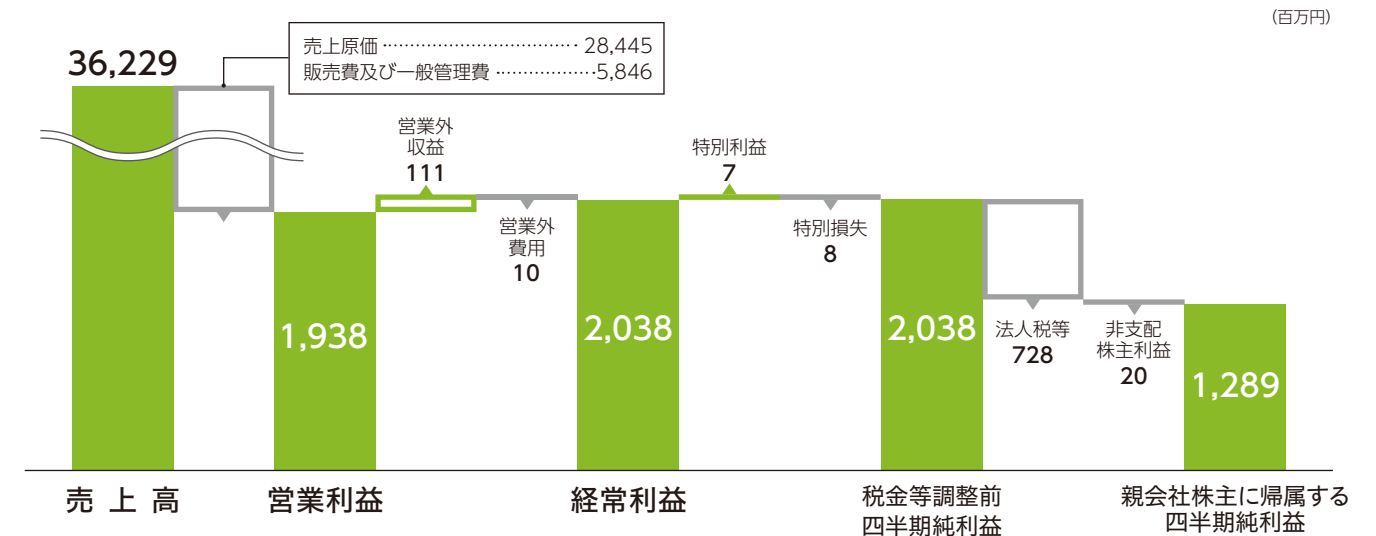
負債 237億8百万円(前期比△2億33百万円)

仕入債務の増加等があったものの、短期借入金の返済等を主因として、流動負債が減少した一方で、長期借入金の増加等を主因として、固定負債が増加したことによるものです。

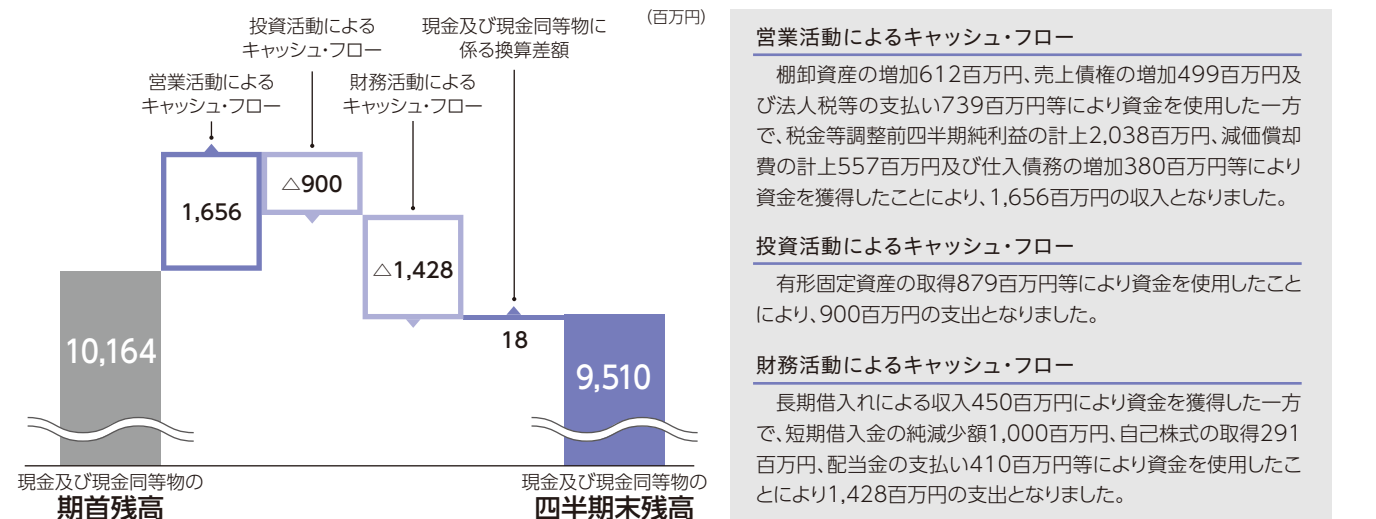
純資産 326億77百万円(前期比+6億10百万円)

自己株式の取得及び剰余金の配当の支払いによる減少等があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加等があったことによるものです。

四半期連結損益計算書の概要



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要



営業活動によるキャッシュ・フロー

棚卸資産の増加612百万円、売上債権の増加499百万円及び法人税等の支払い739百万円等により資金を使用した一方で、税金等調整前四半期純利益の計上2,038百万円、減価償却費の計上557百万円及び仕入債務の増加380百万円等により資金を獲得したことにより、1,656百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得879百万円等により資金を使用したことにより、900百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入れによる収入450百万円により資金を獲得した一方で、短期借入金の純減少額1,000百万円、自己株式の取得291百万円、配当金の支払い410百万円等により資金を使用したことにより、1,428百万円の支出となりました。

会社概要

社名	コンドーテック株式会社 (英文名 KONDOTEC INC.)
本社	大阪市西区境川二丁目2番90号 TEL 06-6582-8441(代表)
東京本社	東京都江東区南砂一丁目9番3号 TEL 03-5634-2241(代表)
設立	1953年1月14日
資本金	26億6,648万5千円
従業員	連結1,217名 単体760名
連結子会社	三和電材株式会社 KONDOTEC INTERNATIONAL (THAILAND) Co., Ltd. 中央技研株式会社 日本足場ホールディングス株式会社 テックビルド株式会社 東海ステップ株式会社 株式会社フコク 栗山アルミ株式会社

株式情報 | STOCK INFORMATION

株式の状況

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	26,344,400株
単元株式数	100株

大株主

株主名	持株数	持株比率
有限会社藤和興産	3,014千株	11.8%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,890千株	7.4%
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	1,603千株	6.3%
コンドーテック社員持株会	1,377千株	5.4%
大阪中小企業投資育成株式会社	1,247千株	4.9%
株式会社Fプランニング	900千株	3.5%
株式会社三菱UFJ銀行	753千株	3.0%
株式会社藤登興産	676千株	2.7%
近藤 雅英	664千株	2.6%
近藤 純位	633千株	2.5%

(注)自己株式881千株は上記大株主には含めておりません。
また、持株比率は自己株式を除いて算出しております。

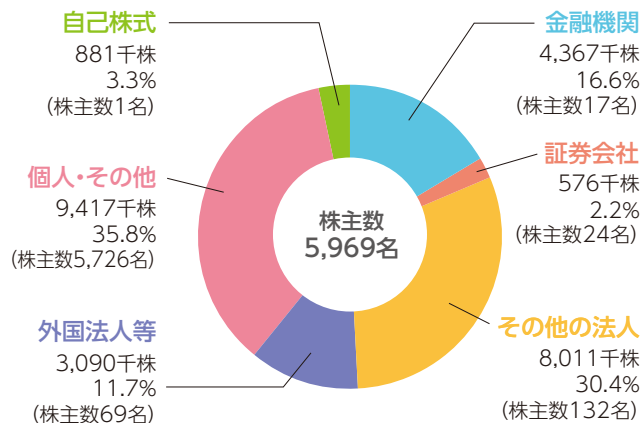
(2022年9月30日現在)

役員

代表取締役社長	近藤 勝彦
専務取締役	矢田 裕之
常務取締役	濱野 昇
常務取締役	百田 陽一
取締役	浅川 和之
取締役	江尻 友征
取締役	石野 和浩
取締役	安藤 朋也
社外取締役	金井 美智子
社外取締役	丸山 隆司
取締役(常勤監査等委員)	西田 範夫
社外取締役(監査等委員)	安田 加奈
社外取締役(監査等委員)	徳田 琢
社外取締役(監査等委員)	山岡 美奈子

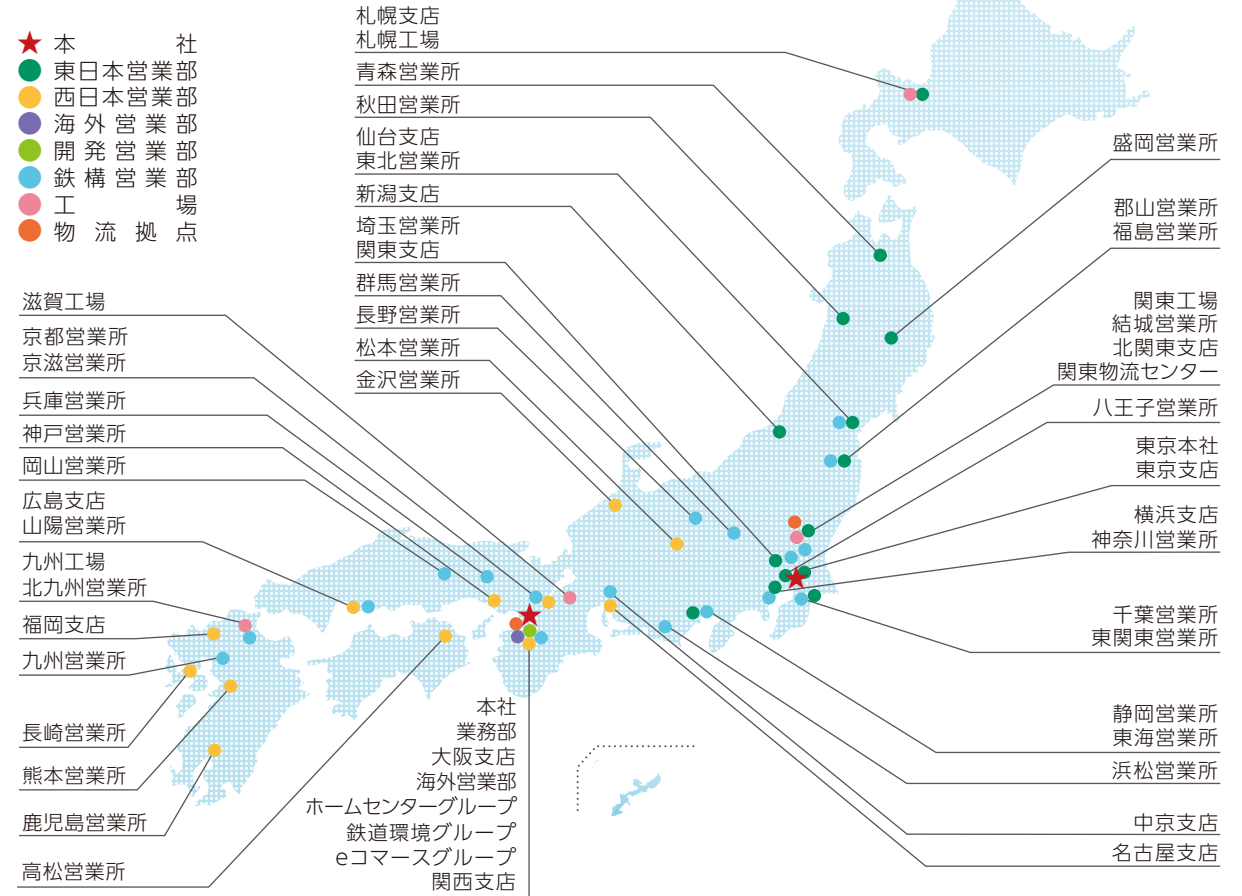
(2022年9月30日現在)

所有者別株式分布状況



当社営業拠点・工場

(2022年9月30日現在)



グループ会社名	本社所在地	事業所・工場
三和電材株式会社	名古屋市中村区	営業所14ヶ所
KONDOTEC INTERNATIONAL (THAILAND) Co., Ltd.	タイ・バンコク市	—
中央技研株式会社	滋賀県犬上郡	営業所2ヶ所
日本足場ホールディングス株式会社	東京都江東区	—
テックビルド株式会社	東京都大田区	営業所17ヶ所
東海ステップ株式会社	静岡県藤枝市	営業所15ヶ所
株式会社フコク	仙台市泉区	営業所5ヶ所
栗山アルミ株式会社	名古屋市中村区	営業所2ヶ所、工場1ヶ所

株主優待のご案内

コンドーテック・プレミアム優待倶楽部

毎年3月末日現在の株主名簿に記載された当社株式5単元(500株)以上保有されている株主様を対象として、保有株式数に応じ、株主優待ポイントを贈呈いたします。

株主様の保有するポイント数に応じて、株主様限定の特設WEBサイトにおいて、食品、電化製品、旅行・体験など2,000点以上の商品からお好みの商品をお選びいただけます。

ポイント贈呈時期

毎年5月上旬頃を予定しております。

繰越条件など

繰越条件や「コンドーテック・プレミアム優待倶楽部」の詳細については右記WEBサイトよりご確認ください。

株主優待ポイント表(1ポイント≒1円)

保有株式数	贈呈される株主優待ポイント
500株以上 600株未満	3,000ポイント
600株以上 700株未満	4,000ポイント
700株以上 800株未満	5,000ポイント
800株以上 900株未満	6,000ポイント
900株以上 1,000株未満	7,000ポイント
1,000株以上	10,000ポイント

特設WEBサイトのリンクはこちら!
<https://kondotec.premium-yutaiclub.jp/>

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、
あらかじめ公告して定めます。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場

[株式に関する住所変更等のお届出及びご照会]

証券会社でお取引をされている株主様

■郵便物送付先・電話お問い合わせ先

お取引のある証券会社になります。

※未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本店及び全国各支店でお支払いいたします。

特別口座に記録されている株主様

■郵便物送付先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

■電話お問い合わせ先 ☎0120-094-777 (通話料無料)

■お取扱店 三菱UFJ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店



UD FONT

2022年11月発行

当報告書には財政状態及び経営成績に関する将来予測の記述が含まれております。
この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれております。

環境に配慮した植物油インキを
使用しています。
見やすく読みましがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。